

令和6年度 名古屋市立供米田中学校

くま中生の心得 Ver.1



- 自ら考え、正しい判断・行動ができるようにします。
- みんなが安心・安全に学校生活を送るための行動をします。
- 困ったときは誰かに相談します。

年	組	氏名
---	---	----

I 登校時

- ・自転車通学はやめましょう。
- ・通学路を通りましょう。
- ・8:20 に着席し、朝の活動が開始できるよう登校しましょう。

II 放課

- ・他クラスへの出入りはやめましょう。

III 持ち物

- 1 リュックタイプのカバンを使用しましょう。
(色の指定はありません。責任をもって各自でふさわしいものを選びましょう。)
- 2 学校生活に必要なものを持ってこないようにしましょう。(例：携帯電話、お菓子、ゲーム、音楽機器)
- 3 水筒やペットボトルを持参しましょう。中身はお茶か水、または必要に応じてスポーツドリンクにしましょう。

IV 服装・頭髪・身だしなみ

- 1 服装について
 - 1 年生（ブレザー）は制服を着用しましょう。
 - 2, 3 年生（学生服・セーラー服）は制服または体操服を着用しましょう。

気温に合わせて防寒具で調整しましょう。校内では、名札を制服の決められた位置（上着やセーラー服の左胸、上着を脱ぐ場合はシャツの左胸）に付けましょう。
- 2 頭髪・身だしなみについて

清潔感のある頭髪にしましょう。
パーマや染髪、脱色、整髪料の使用はやめましょう。
化粧はやめましょう。
- 3 靴について

ひも、マジックテープのついた運動靴（ローカット）を履きましょう。（色は白以外も可）
大雨や大雪の日は、長靴で登校してもよいです。
スリッパ、体育館シューズは指定のものを履きましょう。
- 4 靴下について

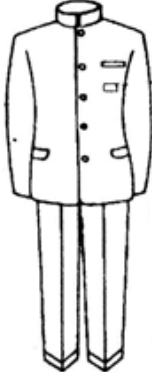
地味な色のものにしましょう。

服装について（学生服・セーラー服）

○ 服装：制服または体操服を着用する

※ 学生服、セーラー服では気候への対応が難しく、機能性も高くない。さらに、多様性に対応できないため、体操服での登校も認める。

制服・体操服・ジャージの着こなし

	夏服	冬服
学生服	半袖開襟シャツ + ズボン 	長袖カッターシャツ + ズボン + (※冬服の上着) 
	※冬服の上着について ・上着は脱ぎ着してかまわない。必要がなければ持ってこなくてもよい。 ・卒業式や行事など学校が指定した日は必ず持参し、着用する。	
セーラー服	夏のセーラー服 + スカート 	冬のセーラー服 + スカート 
体操服・ジャージ	①体操服 + 半ズボン ②体操服 + 長ズボン ③体操服 + 長袖ジャージ + 半ズボン ④体操服 + 長袖ジャージ + 長ズボン ⑤体操服 + 長袖ジャージ + 半ズボン + 長ズボン    	

酷暑期の服装について（6～10月）

基本的に制服または体操服を着用する。

ただし、体操服の洗い替えがないなどの場合は体操服に準ずる形のTシャツを使用してもよい。その場合は必ず名札を付ける。

※なんでも自由にTシャツを着ていいという認識ではない

防寒具について（学生服・セーラー服）

「制服、体操服・ジャージの着こなし」のいずれかを着用し、気温によって防寒具をプラスして、各自調整してよい。

【着てよいもの】	【注意点】
○コート、ダウン、ウインドブレーカーなどのアウター類 ○カーディガン、セーター、トレーナーなど ・色の指定はない ・普段使用している物で可 ・新たに買う必要はない	冬服の上着、セーラー服、学校ジャージの下からフードは出さない 体育時は必ず教室で脱ぐ

名札について

制服の決められた位置に付ける（冬服の上着やセーラー服の左胸、上着を脱ぐ場合はシャツの左胸）
教科担任の先生から指示があれば防寒具に付ける

その他

【使用してよいもの】	【注意点】
タイツやストッキング	→ 体育時は必ず脱ぎ、靴下をはく
ひざかけ	→ 自分の席でのみ使用する
使い捨てカイロ	→ 必ず持ち帰る
マフラー、ネックウォーマー、手袋	

服装について（ブレザー）

○ 服装：制服を着用する

※ ブレザーは機能性が高く、気候や多様性に対応しているため、原則制服で登校する。

制服の着こなし

	ズボン + ベルト (黒)	スカート
①	・ズボンのすそはシングル、ダブルどちらも可	・長さの目安は立ってひざが隠れる長さ
↓		
	白の 長袖 カッターシャツ	白の 長袖 ポロシャツ
②	・シャツのすそをズボンやスカートに入れる(ジャケットなしの場合でも入れる) ・第1ボタンは開けてもよい ・中に色や柄が表に透けないインナーを着用する	白の 半袖 ポロシャツ (学校 指定品) ・シャツのすそをズボンやスカートに入れなくてもよいが、 <u>上にジャケットを着る場合は</u> シャツのすそをズボンやスカートに入れる ・第1ボタンは開けてもよい
↓		
	ジャケット	
③	・ジャケットは脱ぎ着してかまわない。必要がなければ持ってこなくてもよい ・卒業式や行事など学校が指定した日は必ず持参し、着用する ・ボタンは開けてもよいが、式典などでは上のボタンのみ留める	
ジャケットは脱ぎ着してよい ズボンの場合はベルトを着用する ズボンのすそは、シングル、ダブルのどちらでも可  シャツの第1ボタンは開けてもよい ジャケットのボタンは開けてもよい シャツのすそは、ズボンやスカートに入れる スカートは立ってひざが隠れる長さ 		

酷暑期の服装について（6～10月）

基本的に制服を着用する。

しかし、ズボンとスカートの生地が冬も含め、年間使用することができる厚さであることから、ポロシャツの下に体操服のハーフパンツを着用することは認める

例) 半袖のポロシャツ + ハーフパンツ の組み合わせも可



防寒具について（ブレザー）

- | | |
|---|--|
| ① | ポロシャツ、カッターシャツの上に
無地のセーターまたはカーディガンを着る（色は指定しない） |
| ② | ジャケットの上に
アウターを着る（例：コートやダウンなど）（色は指定しない） |

※ 体育時は必ず教室で脱ぐ

名札について

制服の決められた位置に付ける（上着の左胸、上着を脱ぐ場合はシャツの左胸）

教科担任の先生から指示があれば防寒具に付ける

その他

【使用してよいもの】	【注意点】
タイツやストッキング	→ 体育時は必ず脱ぎ、靴下をはく
ひざかけ	→ 自分の席でのみ使用する
使い捨てカイロ	→ 必ず持ち帰る
マフラー、ネックウォーマー、手袋	